

# KIKUCHI SCIENCE LABORATORY INC.

## 簡易三脚型スクリーン（モバイル）

KDX-AW [オールホワイト] [KDX-80AW] [KDX-100AW] [KDX-120AW]

## 取り扱い及び設置説明書



このたびは、キクチプロジェクションスクリーンをお買い上げいただき誠にありがとうございます。  
製品を正しくお使いいただくために本書をよくお読みください。  
お読みになったあとは大切に保管してください。

### 目次

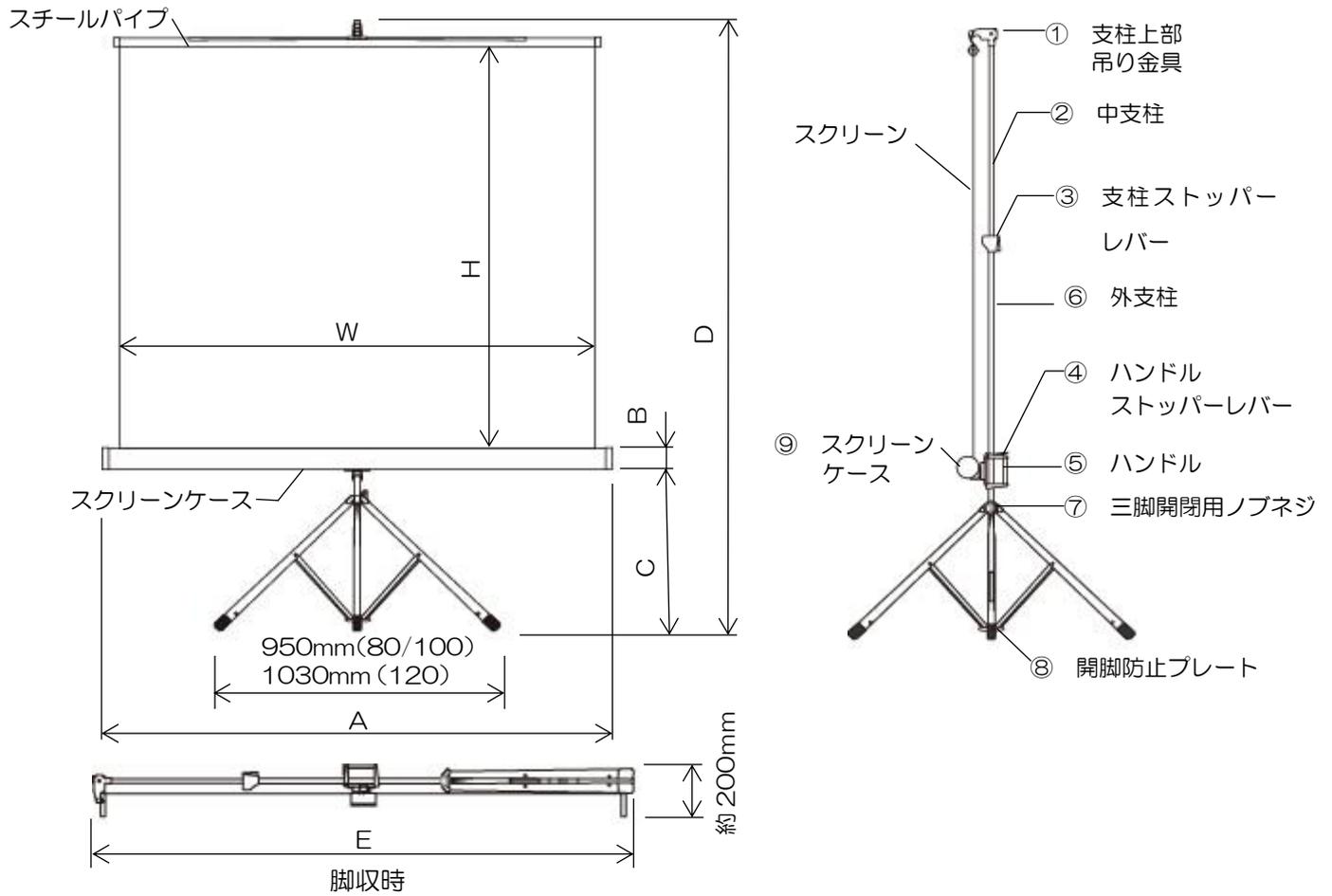
各部名称・寸法図・安全上のご注意・・・2

スクリーンの使い方・・・・・・・・・・3・4

スクリーンを収納する方法・・・・・・・・5・6

使用上のご注意・・・・・・・・・・・・・7

# 各部名称・寸法図



## 安全上のご注意

必ずお守りください

 <b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中支柱を上下に調整するときは、必ずきき手でしっかりと握り操作してください。軽く握っていると中支柱が急激に降下し危険です。</li> <li>●スクリーンを設置する場合は、人が通らない場所や平らな場所を選んでください。人との接触や傾斜・段差がある場所に設置するなどして、スタンドが傾くと転倒する危険があります。</li> <li>●スクリーンには、お子様などが誤って触れないよう十分に注意してください。</li> </ul>
 <b>禁止</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●屋外などの風がある場所では、スクリーン面全体に大きな力が加わり転倒する危険がありますので、使用しないでください。</li> <li>●生地が収納されたスクリーンケースを水平にセットしたまま放置することは転倒の危険があるためおやめください。</li> </ul>
 <b>警告</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スクリーンケースに収納して保管する場合は、必ず水平にねかせてください。立てかけたまま放置することは転倒の危険があるためおやめください。</li> </ul>

## スクリーン規格一覧

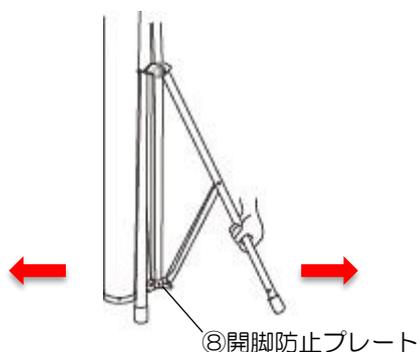
オールホワイト(4:3) ホワイトマット(W)

型番	スクリーンサイズ		スクリーンケース		スクリーン下高さ	高さ(max)	脚収納時	重量
	W(mm)	H(mm)	A(mm)	B(mm)	C(mm)	D(mm)	E(mm)	
KDX-80AW	1726	1469	1834	φ77	490~1310	2948	1884	8.5
KDX-100AW	2132	1774	2244	φ77	490~1038	2990	2300	12.5
KDX-120AW	2498	2079	2630	φ77	670~1362	3619	2685	15.0

# スクリーンの使い方

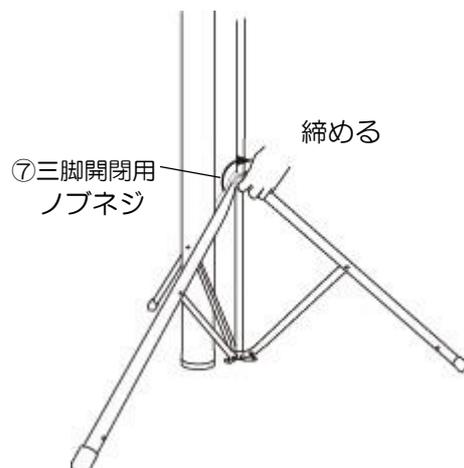
## ①三脚を開きます。

- スクリーンスタンドを持ち上げ、⑦三脚開閉用ノブネジをゆるめ、三脚の足下部を⑧開脚防止プレートからはずして、三脚をひろげてください。



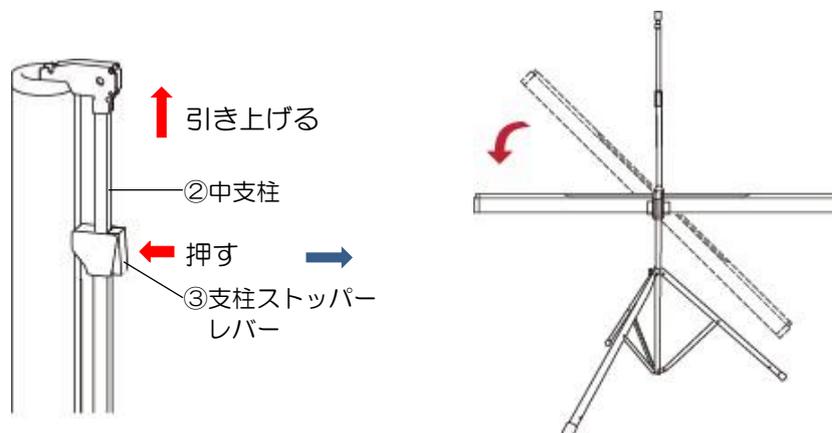
開脚防止プレートからはずれると三脚が急激に開くことがありますので、ご注意ください。

- ⑦三脚開閉用ノブネジを締めてください。



## ②スクリーンケースを水平にします。

- ⑥外支柱の上部にある③支柱ストッパーレバーを押し、②中支柱を5cm程上げ、スクリーン上部のかみ合わせをはずしてください。つづいて⑨スクリーンケースを左に回転させて水平にしてください。

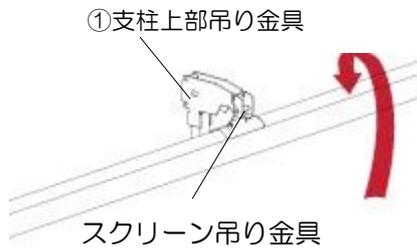


この作業は、スクリーンケースの背面側（⑤ハンドル側）から行ってください。

# スクリーンの使い方

## ③スクリーンを吊り下げます。

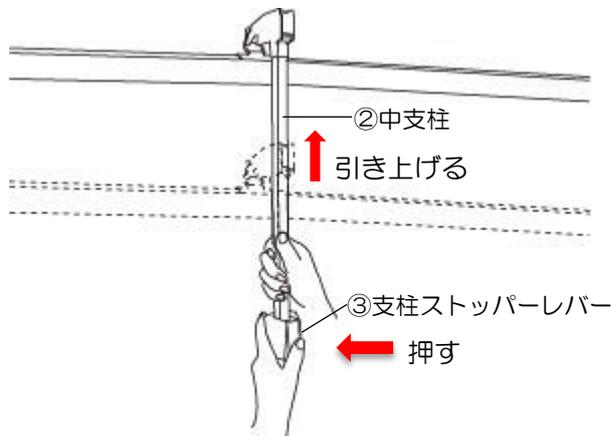
- スクリーンを引き上げ、スクリーン吊り金具を①支柱上部吊り金具の切り込みにひっかけます。



※中支柱の位置が高くスクリーン吊り金具がひっか  
にくい場合は、③支柱ストッパーレバーを押して  
①支柱上部吊り金具にひっかけやすい位置まで  
②中支柱を下げてください。

## ④スクリーンを引き上げます。

- ③支柱ストッパーレバーを押しながら、きき手で②中支柱をしっかりと握り、必要な高さまで引き上げます。

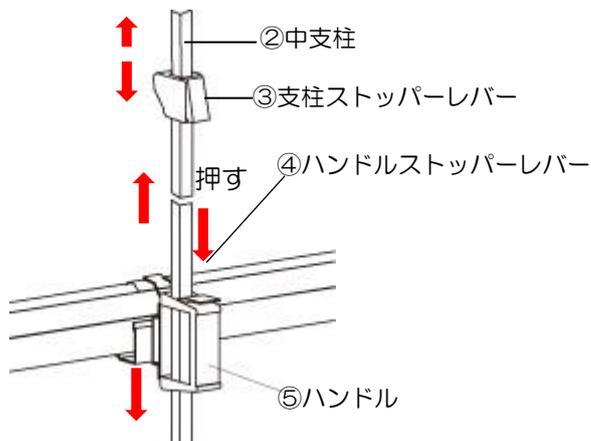


**注意**

②中支柱を引き上げるときは、必ずきき手でしっかりと握り操作してください。  
軽く握っていると②中支柱が急激に降下し危険です。

## ⑤スクリーンの高さを調整します。

- スクリーンケースの高さを設定してください。⑤ハンドルをしっかり持ち④ハンドルストッパーレバーを押すと上下させる事が出来ます。
- スクリーン上部が高い場合は③支柱ストッパーレバーを押しながら、②中支柱を下げてスクリーンの高さを調節してください。

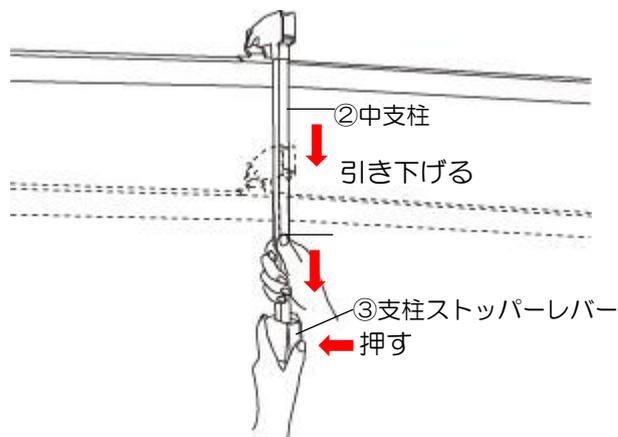


※スクリーン裏面のストップシールの下面が  
⑨スクリーンケース上面より飛び出さない  
ように調整してください。

# スクリーンを収納する方法

## ①スクリーンを引き下げます。

- ③支柱ストッパーレバーを押しながら、きき手で②中支柱をしっかりと握り、最下端までゆっくり下げてください。

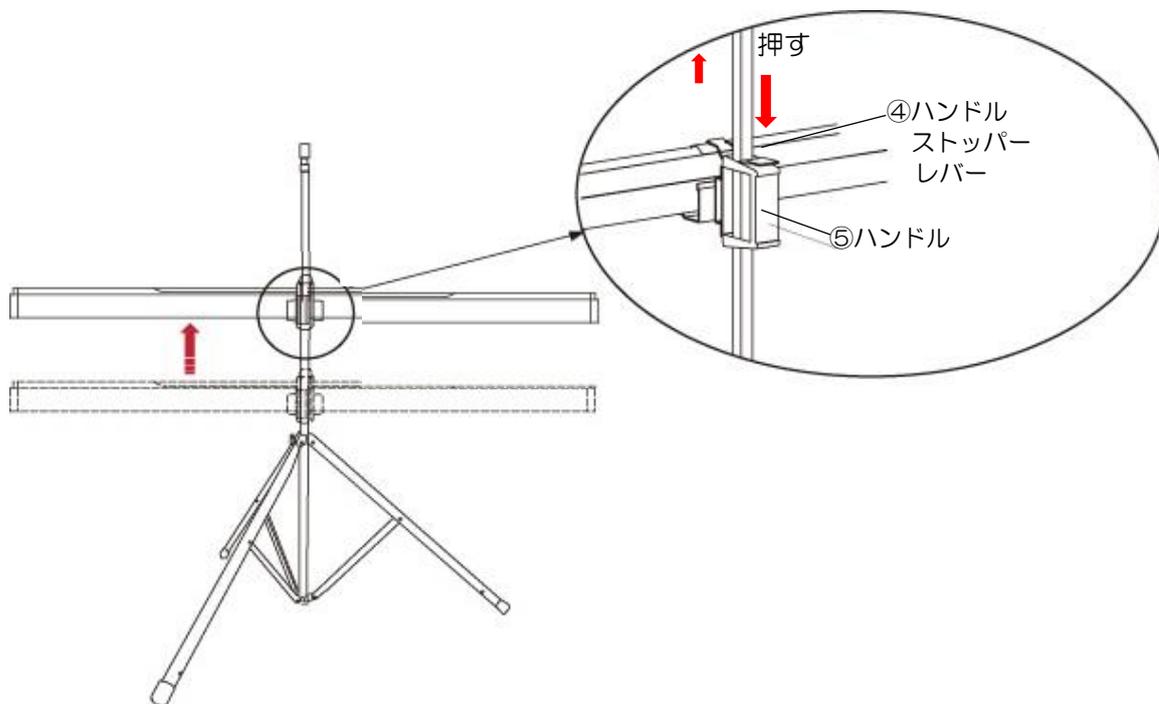


**注意**

②中支柱を引き下げるときは、必ずきき手でしっかりと握り操作してください。  
軽く握っていると②中支柱が急激に降下し危険です。

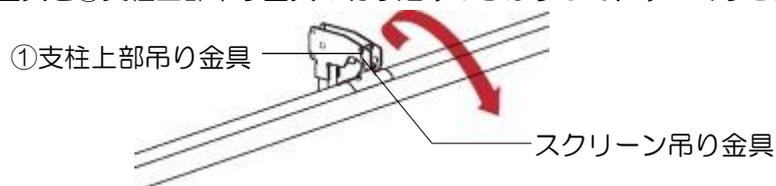
## ②スクリーンケースを持ち上げます。

- ⑤ハンドルをしっかりと持ち④ハンドルストッパーレバーを押しながら、床から90 cm程上に持ち上げてください。



## ③スクリーンを取りはずします

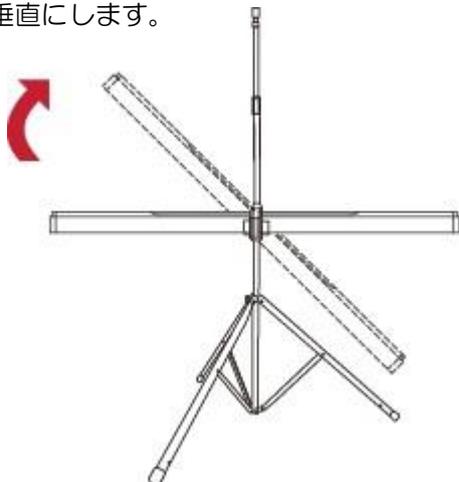
- スクリーン吊り金具を①支柱上部吊り金具の切り込みからはずして、ゆっくりとスクリーンケースへ収納させます。



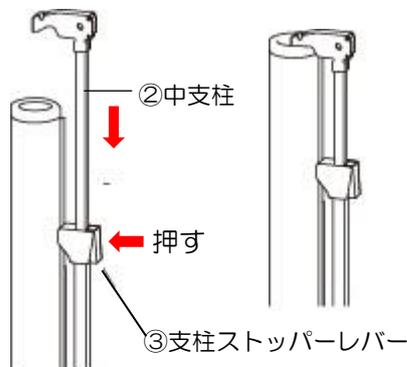
# スクリーンを収納する方法

## ④スクリーンを垂直にします。

- ⑨スクリーンケースを右回転させて垂直にします。



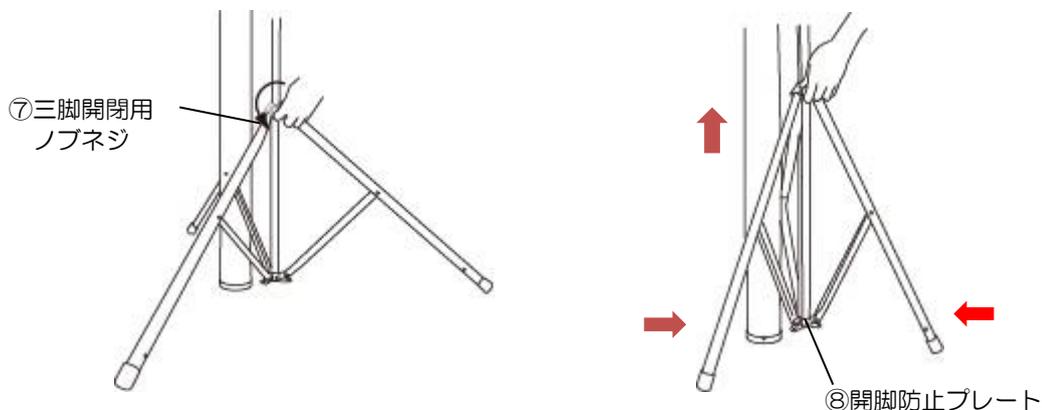
- ③支柱ストッパーレバーを押し②中支柱を下げ、①支柱上部吊り金具をケースキャップの溝に合わせてください。



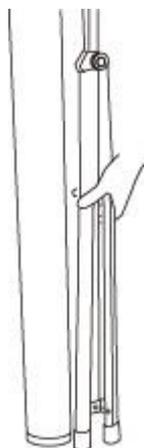
※⑨スクリーンケースが床に当たって垂直にならない場合は④ハンドルストッパーレバーを押しながら⑤ハンドルを握って、⑨スクリーンケース全体を上を持ち上げて調整してください。

## ⑤三脚を閉じます。

- スクリーンスタンドを持ち上げ⑦三脚開閉用ノブネジをゆるめ、上を持ち上げて折りたたみます。



- ⑧開脚防止プレートに脚がおさまるようにそろえて、⑦三脚開閉用ノブネジを締めてください。



三脚の内側に指を入れて閉じないでください。指がはさまれ危険です。



スクリーンを保管する場合は、安全のため水平にして床に置いてください。

## 使用上のご注意

スクリーン面は反射性能を強化するために、スクリーン表面が特殊な構造となっています。傷や汚れがつくと、映写効果を損なう恐れがありますので、次のことに十分注意をして丁寧にお取り扱いください。

- スクリーン面に手をふれないでください。

**禁止**



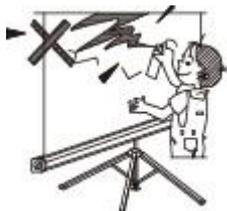
- ケースは絶対にあけないでください。故障のときはお買い上げの販売店にご相談ください。

**禁止**



- スクリーン面に文字などを書かないでください。スクリーン面に書かれたものは、筆記用具の種類を問わず消すことができません。

**禁止**



- 水を湿らせた布やベンジン、シンナーなどでスクリーン面をふかないでください。スクリーンの表面が変質したり塗料がはげたりします。

**禁止**



## お手入れのしかた

- ケースの汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布を絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



- スクリーン面のほこりをとるときは、柔らかいブラシで軽く払ってください。



## 置き場所・保管についてのご注意

- 直射日光の当たる場所、ホコリや湿気の多い場所や熱器具のそばなど、直接熱が当たる場所は変形・故障や事故の原因となります。また、高温の車中への放置もさけてください。

製造販売元



株式会社キクチ科学研究所 <http://kikuchi-screen.co.jp/>

本社 〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-12-35 TEL 03-3952-5131 (代)

大阪営業所 〒556-0014 大阪府大阪市西区北堀江 1-5-2 四ツ橋新興産ビル 100B TEL 06-6567-9035 (代)

LAB2006A